

12月のおススメ本

メリークリスマス!



さむ きせつ ほなし
寒い季節にあたたかいお話を



『ちいさなサンタまちに行く』



アヌ・ストーナー/文 ヘンリケ・ウィルソン・コード/絵

若松 宣子/訳

岩崎書店 E/ウ 2005年発行

サンタクロースが住む村があります。ここで暮らす小さなサンタクロースは森の動物たちにプレゼントを渡す仕事をしています。ある日、町の動物たちから「森だけでなく、町にも来てほしい…」とたくさんの手紙が届きました。しかし、小さなサンタクロースは町に行けず…。

『ポコポコクリスマスクッキー』

さかい さちえ/作・絵
教育画劇 E/サ 2022年発行



プレゼントの箱を持って、きつねくんのおうちにやってきたポコポコ。おうちの中に入ると、皆も同じように箱を持って集まっていました。今日はクリスマス。パーティーの始まりです。皆がそれぞれ持ってきた箱を、まずはポコポコが開けました。一体何が入っているのでしょうか？

『こぎつねのとくべつなクリスマス』

ポリー・フェイバー/さく リチャード・ジョーンズ/え
ひびの さほ/やく

岩崎書店 E/ジ 2022年発行



ここは遠い北の国。雪の降る中、おなかを減らしたこぎつねが歩いています。積もった雪にびよん、びよんと飛び込みながら獲物を探していると、飛び込んで出来た穴の下から、光が漏れているのを見つけました。暖かい光で、しかもおまけにいい匂いがします。こぎつねは雪をかいて、光の方に進んでいき…。

